

2021年4月14日

## 当行グループ会社による高森町等との連携協定締結について

### ～持続可能な消費と生産プロジェクトによるフードロス削減を通じた農業活性化事業～

当行のグループ会社である肥銀オフィスビジネス株式会社（代表取締役社長 徳村 昌司）は、高森町（町長 草村 大成）、阿蘇農業協同組合（代表理事組合長 原山 寅雄）、株式会社 hakken（代表取締役 CEO 竹井 淳平）、ならびに株式会社タイミー（代表取締役 小川 嶺）との間で、下記のとおり協定を締結したことをお知らせいたします。

当行は今後もグループ一体で、地域のお客さまとともに、持続可能な社会づくりへ向けた取り組みを進めてまいります。

### 記

#### 1. 協定名

持続可能な消費と生産プロジェクトによるフードロス削減を通じた高森町農業活性化事業実施に関する協定

#### 2. 協定概要

高森町が有する世界農業遺産認定の阿蘇ブランドや自然環境、地理的要件に加え、公有の遊休施設等の地域資源と、J A阿蘇の営農技術や知識、農産物の集配等に関するネットワークに加え、株式会社 hakken、株式会社タイミーならびに肥銀オフィスビジネス株式会社が有する農業振興策、商品開発のノウハウ、地元人材確保施策といった各々のスケールメリットを活かし、持続可能な消費と生産体制の構築によるフードロス削減を通じ、高森町の農業及び地域活性化を図る。

#### 3. 実施期間

2021年4月14日～2023年3月31日

#### 4. 対応するSDGs（持続可能な開発目標）

 <p>2 飢餓を ゼロに</p> <p>2.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業の活性化と新規農産品開発</li> <li>・高森町有遊休施設の利活用</li> <li>・中長期間における農業の労働力確保、人材のマッチング事業</li> </ul>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>12.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥野菜の製造販売プロジェクト</li> <li>・フードロス削減に関する広報、教育活動</li> </ul>

以上

〔協定締結式の様子〕 2021年4月14日 高森総合センターにて



〔高森町概要〕

自治体名	高森町
人 口	6,197人 (2021年3月末)
町 長	草村 大成
公式 HP	<a href="http://town.takamori.kumamoto.jp/">http://town.takamori.kumamoto.jp/</a>
産 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 主要産業は農林業と観光業。</li> <li>➤ 農業は畑作・稲作、葉たばこ生産、畜産、林業などで発展。近年はキャベツなどの高冷地野菜やヒゴムラサキ（赤ナス）、夏秋トマト、花きなどの施設型も展開し、町の特産品である鶴の子芋やみさを大豆、ナンゴウヒ（檜）のブランド化を推進。</li> <li>➤ 観光は南阿蘇地域の豊かな山野に囲まれて過ごすグリーンツーリズム型が主体で、2019年には約72万人、2020年にはコロナ禍で減少したが約47万人の観光客が来町。</li> </ul>
新たな 取組・ 出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 「世界から熊本に！熊本から世界へ漫画を発信！熊本をマンガの聖地に！高森を漫画家のシリコンバレーに」をコンセプトに掲げ、世界各国からマンガクリエイターを高森町へ招聘し「くまもと国際マンガCAMP」を2018年に初開催。</li> <li>➤ これを契機に、エンターテインメント業界との連携によるまちづくりを積極的に推進。</li> <li>➤ 2020年11月、「ONE PIECE 復興プロジェクト」によるフランキー像が高森駅に設置され、多くのファンが来町。</li> <li>➤ 2016年4月の熊本地震による阿蘇大橋崩壊の後、国土交通省が建設を進めてきた新阿蘇大橋が2021年3月に開通。南阿蘇地域へのアクセスが大きく改善。</li> </ul>